

1. 秋田県環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備 考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	276,689,537	
	内訳	うち、国費相当額	138,344,768
		うち、地方負担相当額	138,344,769
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	40,476	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	32,152,210	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	244,577,803	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	122,288,901
		うち、地方負担相当額	122,288,902
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備 考
⑧	基金残高		244,577,803	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		237,681,000	
⑩	保有割合		1.03	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等				
1	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	1,719,911	0	1,719,911	46.0%	2,164,000	12,589,000
2	環境活動推進事業	8,069,621	747,846	7,321,775	36.5%	8,511,000	51,066,000
3	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	16,022,642	6,672,142	9,350,500	47.3%	12,847,000	68,582,000
4	自然公園美化対策事業	1,363,000	0	1,363,000	40.0%	1,380,000	8,280,000
5	白神山地利活用推進事業	3,578,392	199,544	3,378,848	58.0%	24,846,000	27,114,000
6	生物多様性地域戦略推進事業	627,000	0	627,000	14.0%	1,703,000	10,218,000
7	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	1,750,577	0	1,750,577	31.0%	2,550,000	15,300,000
8	リサイクル製品普及啓発事業	589,754	0	589,754	96.7%	600,000	3,600,000
9	環境あきたエコ活動促進事業	2,749,565	0	2,749,565	59.4%	2,750,000	16,500,000
10	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	2,785,200	0	2,785,200	10.0%	2,872,000	17,232,000
11	奥森吉青少年野外活動基地宿泊型環境学習事業	516,080	0	516,080	14.0%	1,200,000	7,200,000
12		0					
13		0					
14		0					
15		0					
合 計		39,771,742	7,619,532	32,152,210		61,423,000	237,681,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	環境保全に関する調査における県民の「環境保全活動への参加率」について、2027年度までに80%を達成する。	
	成果実績	68.0%
	目 標 値	80.0%
	達 成 度	85.0%

令和3年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖沼水質保全計画推進事業（八郎湖環境学習推進）	開始年度	平成26年度
担当部署	環境管理課八郎湖環境対策室	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 八郎湖の環境や水質保全の意識や重要性について流域住民の理解を深め、協働活動等の参加を促進するため、環境学習の機会を広く継続的に提供する。</p> <p>【目標】 湖沼水質保全計画における八郎湖（湖心）のCOD目標値を指標とする。 ※2020年度現在の目標値 ＝第3期湖沼水質保全計画（最終2024年度（令和6年度））の目標値 八郎湖（湖心）のCOD7.1 ※2025年度以降の目標値は、2025年度に策定する第4期湖沼水質保全計画で策定する。</p>

2. 概要

<p>八郎湖の環境や水質について学習し、八郎湖周辺の自然に接する機会を増やすことで八郎湖への理解や関心を深める。また、その機会を継続して提供することで、地域全体の環境保全意識を高めて定着させる。</p> <ul style="list-style-type: none">・八郎湖に関する出前授業や環境学習交流会などを開催する。・八郎湖流域の学校等に環境副読本を配付する。・水生生物調査を実施する。・環境学習や環境保全活動に取り組むNPO法人など数団体と協働で「親子体験型イベント」を開催することにより、水質改善に向けた気運を高める。（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none">・第3次秋田県環境基本計画・八郎湖に係る湖沼水質保全計画（第3期）
--

4. 実施内容等

<p>①八郎湖環境学習推進事業 主に八郎湖流域の小学生を対象とした出前授業や環境学習交流会を民間団体へ委託して実施した。計35回（延べ参加人数1,124人）の出前授業を実施し、8月1日に行われた環境学習交流会には計17人が参加した。</p> <p>②環境学習副読本の作成配布 小学校5年生を対象とした環境副読本（A4、カラー、8ページ）を1,000部作成し、八郎湖流域の全小学校の5年生全員及び関係機関に配布した。</p> <p>③水生生物調査 八郎湖流域の小学校が水生生物調査等を実施するために必要な物品を購入した。調査には八郎湖流域の小学校5校（延べ参加人数84人）が参加した。</p> <p>④親子体験型イベント なし（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）</p>
--

令和3年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖沼水質保全計画推進事業（八郎湖環境学習推進）	開始年度	平成26年度
担当部署	環境管理課八郎湖環境対策室	終了年度	令和9年度

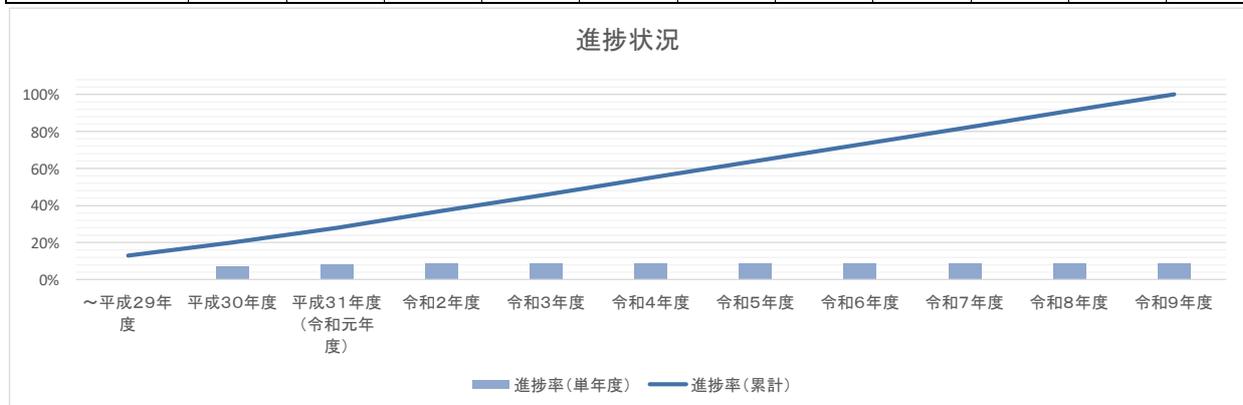
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
講師謝礼	0			
講師旅費	0			
印刷製本・消耗品費	152,611		152,611	副読本作成等
借料・使用料	0			
委託費	1,567,300		1,567,300	環境学習出前授業・交流会委託一式
役務費	0			
合計	1,719,911	0	1,719,911	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		1,546	1,675	1,750	1,720	2,164	2,085	2,085	2,085	2,085	2,085
事業費(累計)	4,623	6,169	7,844	9,594	11,314	13,478	15,563	17,648	19,733	21,818	23,903

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	8%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%
進捗率(累計)	13%	20%	28%	37%	46%	55%	64%	73%	82%	91%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育等推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

地球温暖化などの環境問題解決のため、環境保全活動に携わる人材を育成していく必要がある。そのために、環境学習の機会や取組を実践する意識醸成のための啓発が重要なため、環境保全の大切さや取組内容等について啓発することで、県民の環境保全意識を醸成し、自主的な環境保全に関する取組を促進する。

【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で4,179千トン-CO2削減する。

※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で54%（6,078千トン-CO2）削減することを目標としている。

2. 概要

- ・学校や子どもエコクラブに対し、環境教育に関する教材や環境活動物資を支援することで、環境保全意識を醸成し、自主的な取組を促進する。
- ・環境大賞として環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰し、その活動事例を広く県民に紹介することにより、県民の環境保全に関する自主的な取組を促進する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
- ・秋田県環境基本条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第3次秋田県環境基本計画
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・第2次秋田県環境教育等に関する行動計画

4. 実施内容等

- ①学校・子どもエコクラブへの環境教育支援
 県内各小中学校に応募を募り、潟上市立羽城中学校、秋田県立秋田南高等学校、大館市立花岡小学校、湯沢市立湯沢南中学校、大館市立西館小学校、横手市立大雄小学校、秋田大学教育文化学部付属特別支援学校、大館市立成章小学校、大仙市立角間川小学校、秋田令和高等学校の10校を環境教育支援校に指定した。また、各校から要望のあった環境教育・環境学習に係る物品を提供し、環境学習の支援を行った。
 子どもエコクラブへの環境教育支援としては、令和3年度に登録されている子どもエコクラブからの活動報告をとりまとめ、子どもエコクラブ活動報告集2021を1000部作成し、子どもエコクラブ、小・中学校、幼稚園等へ送付した。
- ②環境大賞の表彰
 個人又は団体が秋田県内で実践している環境保全活動の事例を募集したところ、3部門に5件の応募があり、選考委員会で1者（1個人）を環境大賞受賞者に選定した。
 11月に秋田県庁第一応接室において表彰式を行い、賞状並びに副賞（楯）を授与し、広く県民に紹介するなど、県民の自主的な取組の促進を図ることができた。
- ・応募部門内訳
 - 個人部門1件、学校教育関係部門2件、団体部門2件
 - ・令和3年度環境大賞受賞者
 - 個人部門：石木田 まり子（鹿角市）
「環境保全活動、やれることからコツコツと。」

令和3年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育等推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

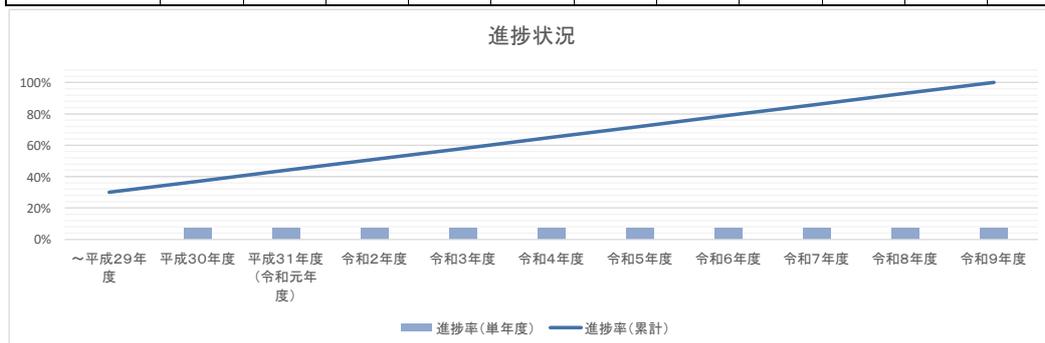
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	81,000	40,000	41,000	
職員旅費	0	0	0	
その他旅費	19,388	5,846	13,542	
印刷製本費	72,600	0	72,600	
消耗品費	697,197	0	697,197	
通信運搬費	46,032	0	46,032	
筆耕料	3,404	0	3,404	
合計	919,621	45,846	873,775	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		990	1,208	1,159	920	2,103	2,103	2,103	2,103	2,103	2,103
事業費 (累計)	854	1,844	3,052	4,211	5,131	7,234	9,337	11,440	13,543	15,646	17,749

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	「あきエコどんどんプロジェクト」による環境配慮普及事業	開始年度	令和3年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

地球規模で気候変動対策などの環境問題が喫緊の課題となっており、環境保全活動の実践の重要性が増してきている。環境問題を解決し、持続可能な社会の実現を目指すためには、県民、特に秋田県の将来を担う若年層の意識を変容し、行動に繋げていく必要がある。このことから、スマホアプリを活用し、若い世代を中心として誰でも気軽に環境に配慮した行動を取ることができる機会を提供し、CO2削減量の見える化を図りながら環境保全活動を促進する。

【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で4,179千トン-CO2削減する。

※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で54%（6,078千トン-CO2）削減することを目標としている。

2. 概要

・省エネやごみ減量などの環境に配慮した行動（エコアクション）を実践するとポイントが付与され、一定量のポイントが貯まると抽選で商品が貰えるアプリを活用した環境保全活動の促進。また、エコアクションに応じて削減されたCO2の量を数値化し、取組を見える化した。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
- ・秋田県環境基本条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第3次秋田県環境基本計画
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・第2次秋田県環境教育等に関する行動計画

4. 実施内容等

・スマホアプリ「あきエコどんどんプロジェクト」の運営
環境教育や地球温暖化防止対策に取り組んでいる事業者が開発したスマートフォンのアプリ（「あきエコどんどんプロジェクト」）を県民に使用してもらい、地域における環境保全活動の実践を促進する。
このため、県は、同事業者とアプリの使用に係るライセンス契約や保守管理等の業務委託契約を締結し、事業を進めている。

【実績】（R3年度末）

- ・登録者数：累計2,140人（R3年度のみ：1,118人）
- ・エコアクション数：85,440回
- ・CO₂削減量：18,309kg

令和3年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	「あきエコどんどんプロジェクト」による環境配慮普及事業	開始年度	令和3年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

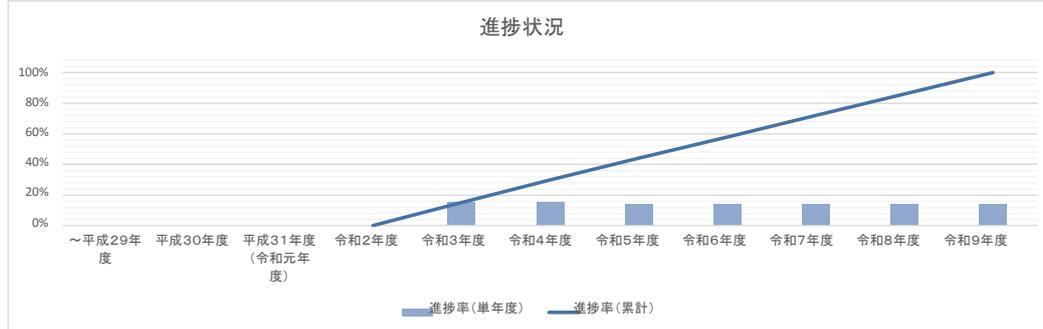
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	7,150,000	702,000	6,448,000	
負担金	0			
合計	7,150,000	702,000	6,448,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)					7,150	7,425	7,425	7,425	7,425	7,425	7,425
事業費 (累計)					7,150	14,575	22,000	29,425	36,850	44,275	51,700

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)					15%	15%	14%	14%	14%	14%	14%
進捗率 (累計)				0%	15%	30%	44%	58%	72%	86%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	秋田県地球温暖化対策推進計画推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。</p> <p>【目標】 秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で4,179千トン-CO2削減する。 ※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で54%（6,078千トン-CO2）削減することを目標としている。</p>
--

2. 概要

<p>第2次秋田県地球温暖化対策推進計画に定める施策を着実に推進する。</p>

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none">・地球温暖化対策の推進に関する法律・気候変動適応法・秋田県地球温暖化対策推進条例・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画・秋田県環境基本条例・第3次秋田県環境基本計画
--

4. 実施内容等

<p>第2次秋田県地球温暖化対策推進計画では、県民一人ひとりの意識醸成と行動変容を図ることとしており、COOL CHOICEの取組等をPRする啓発資料（パンフレットA4両面カラー3,000部、ポスターA2片面カラー500部）を作成し、各種会議での配布やコンビニ等での掲示を通して、地球温暖化対策についての普及啓発を行った。</p>

令和3年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	秋田県地球温暖化対策推進計画推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

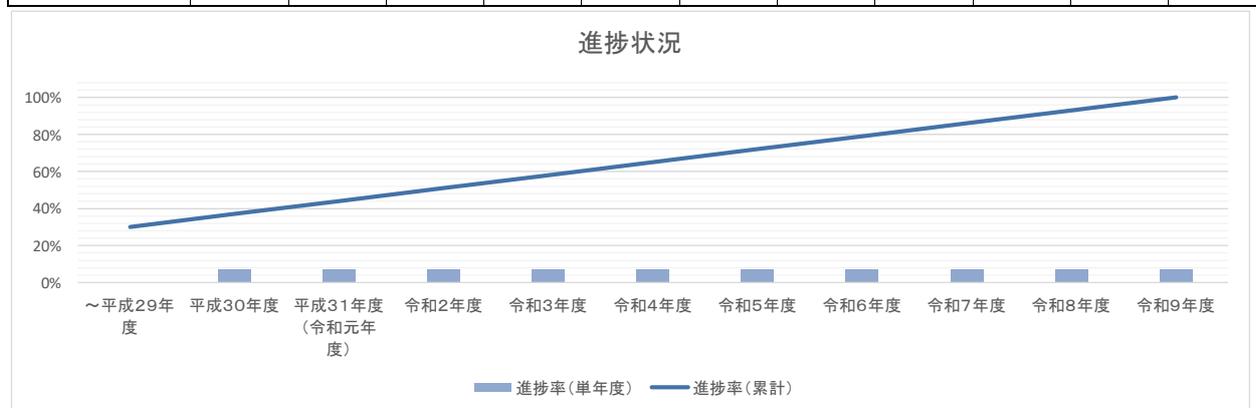
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	52,250	0	52,250	
借料	0	0	0	
委託費	0	0	0	
負担金	0	0	0	
合計	52,250	0	52,250	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		381	1,130	40	53	5,064	3,364	3,364	3,364	3,364	3,364
事業費(累計)	901	1,282	2,412	2,452	2,505	7,569	10,933	14,297	17,661	21,025	24,389

※事業番号3-4を統合

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

秋田県地球温暖化防止活動推進センターの活動を支援し、地球温暖化対策において重要な取組である「環境教育・普及啓発」を効果的に推進する。

【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で4,179千トン-CO2削減する。

※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で54%（6,078千トン-CO2）削減することを目標としている。

2. 概要

地球温暖化対策推進法に基づく秋田県地球温暖化防止活動推進センター（地域センター）の機能を強化し、活動の担い手となる人材の育成とともに、地域主体の自主的な取組等を一体的に推進する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

- （1）環境教育・地球温暖化防止活動の拠点の運営【基金対象外】
- （2）温暖化対策人材育成
 - 対象：秋田県地球温暖化防止活動推進員、あきたエコマイスター 等
 - ・新規推進員等を対象とした基礎研修会の開催（3回、計63名参加）
 - ・推進員の活動を補完するための視察研修の開催（2回、計42名参加）
 - ・推進員等のスキルアップを図るエキスパート研修の開催（6回、計73名参加）
- （3）環境あきた県民塾
 - 地球温暖化やごみ問題など、環境をテーマにした講座を開催。（北秋田市、全9回、7～9月）
 - 対象：一般県民
 - 受講者30名、うち修了生24名、エコマイスター登録23名
 - 地域の環境保全活動のリーダーとして県から登録を受けている「あきたエコマイスター」の活動等について周知し、県民の環境保全活動意欲を増進する。
 - 規格：A3二つ折りリーフレット、再生マット紙、カラー
 - 発行回数：年2回（7月、2月）
 - 発行部数：各2,000部（計4,000部）
 - 配布先：市町村、学校関係等
- （4）地域の環境活動支援事業
 - 市町村、学校及び住民団体等が主催する環境保全に関する講演会、学習会等へ講師等を派遣。
 - 派遣回数：37回

令和3年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

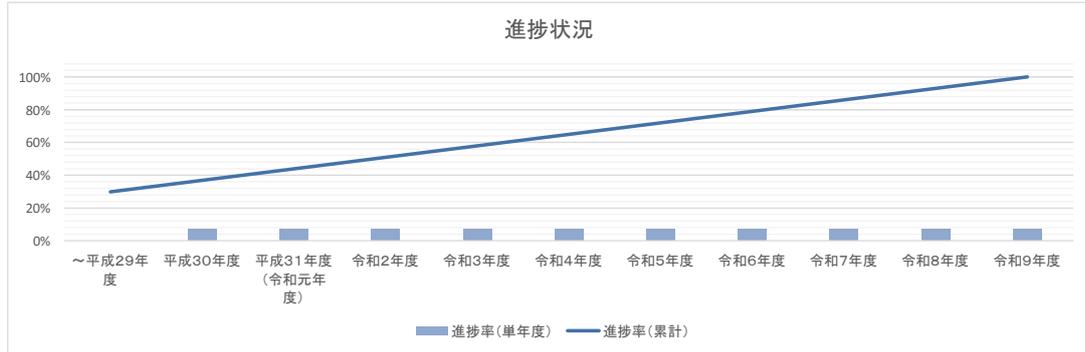
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	13,000,142	6,672,142	6,328,000	
負担金	0			
合計	13,000,142	6,672,142	6,328,000	(単位:円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		0	13,025	12,996	13,001	13,858	13,858	13,858	13,858	13,858	13,858
事業費(累計)	0	0	13,025	26,021	39,022	52,880	66,738	80,596	94,454	108,312	122,170

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	エコマイスター協議会支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。</p> <p>【目標】 秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で4,179千トン-CO2削減する。 ※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で54%（6,078千トン-CO2）削減することを目標としている。</p>
--

2. 概要

<p>地域の環境保全活動のリーダーとして県から登録を受けている「あきたエコマイスター」からなる協議会に対し、一般県民向けの環境学習会や施設見学会等の開催を委託することにより、県民の環境保全意識の醸成を図る。</p>

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策の推進に関する法律 ・気候変動適応法 ・秋田県地球温暖化対策推進条例 ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画 ・秋田県環境基本条例 ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

<p>(1) 県北・県央・県南のあきたエコマイスター協議会に対し、各地域の一般県民向けの環境学習会や施設見学会等の開催について委託。 10事業を実施し、約180名が参加した。</p> <p>(2) 3協議会による協議会代表者会議を開催し、他地域との情報交換や課題の協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：令和3年12月22日（水） ・場 所：秋田地方総合庁舎6階 601会議室 ・参加者：県北協議会2名，県央〃2名，県南〃2名 秋田県地球温暖化防止活動推進センター2名

令和3年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	エコマイスター協議会支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

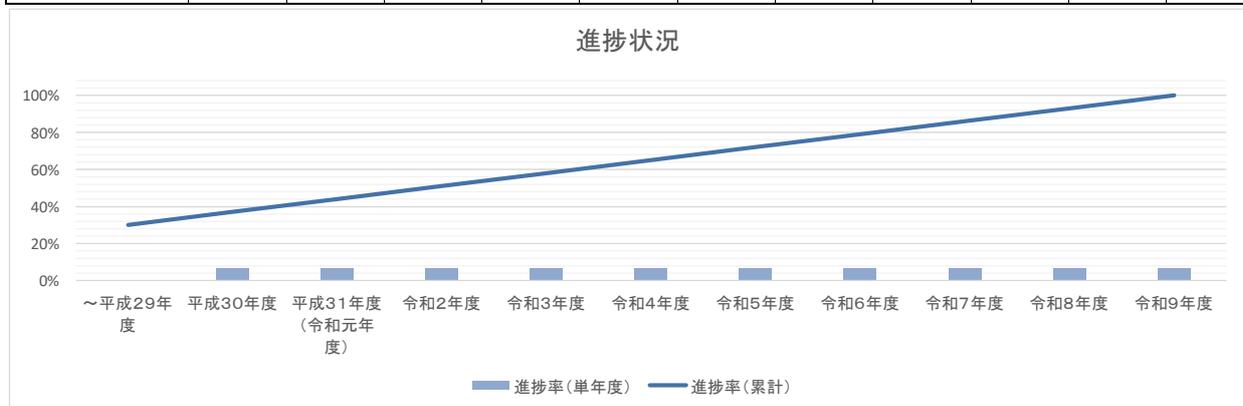
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	25,419	0	25,419	エコマイスター3協議会連絡調整会議旅費
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	324,631	0	324,631	エコマイスター3協議会活動委託 (県北:20,306円、県央:129,290円、県南:175,035円)
負担金	0			
合計	350,050	0	350,050	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		769	750	446	351	811	811	811	811	811	811
事業費(累計)	0	769	1,519	1,965	2,316	3,127	3,938	4,749	5,560	6,371	7,182

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	ネットメディア活用普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】
 ・環境保全に関する普及啓発イベント等の参加者以外の層、特に、将来を担う若年層に対するより強力な普及啓発を推進する。
 ・コロナ禍により低迷している環境問題・環境活動への県民の関心の引き戻しを図る。
 ・テレワーク等在宅時間の増加に伴う家庭の省エネルギー・一般廃棄物等のごみ減量化等に係る環境保全意識の強化を図る。

【目標】
 秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で4,179千トン-CO2削減する。
 ※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で54%（6,078千トン-CO2）削減することを目標としている。

2. 概要

コロナ禍における在宅時間の増加に伴い、ネット配信動画等の視聴時間が増加傾向にあり、特に若年層の視聴メディアとして利用割合が高いネット配信サービス上に、県民向けの温暖化対策の意識醸成や実践行動に繋がる広告を打ち出し、環境保全意識の醸成を図る。

積極的に視聴されるネット配信サービスを活用した広告により、テレビCMよりも効率良く、かつ投稿動画やウェブサイトで行き届かなかった関心が低い若年層をターゲットに環境保全に対する普及啓発を実施する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

気候変動や省エネ等をテーマとした動画を5本作成し、YouTubeを中心に広告配信することで、県民への環境保全の意識の醸成を図った。

配信範囲：秋田県内の利用者

配信期間：10～3月

利用媒体：YouTube（インストリーム広告）、facebook（バナー広告）、Instaram（フィード広告）、専用HP作成

YouTube総再生数：216,372再生

令和3年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	ネットメディア活用普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

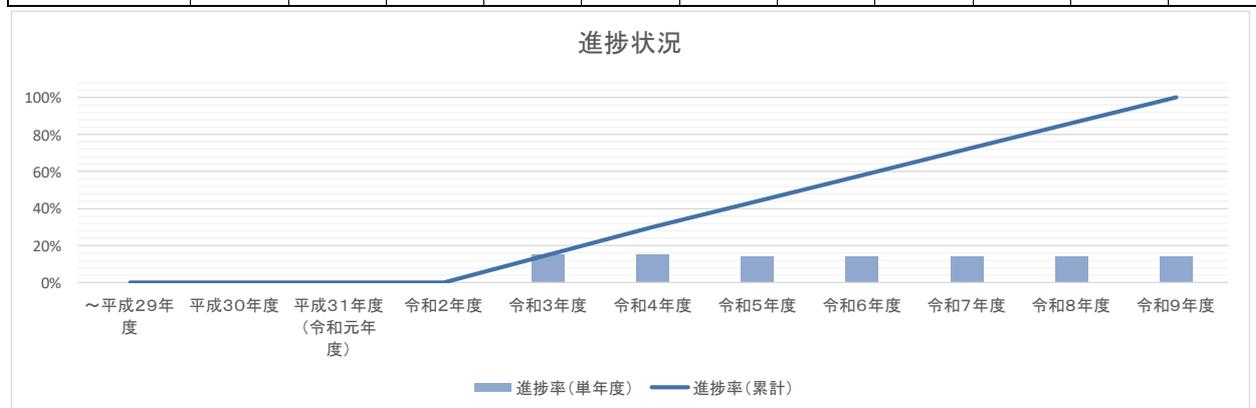
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	2,620,200		2,620,200	
負担金	0			
合計	2,620,200	0	2,620,200	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		0	0	0	2,620						
事業費(累計)	0	0	0	0	2,620	2,620	2,620	2,620	2,620	2,620	2,620

※事業番号3-1へ統合

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		0%	0%	0%	15%	15%	14%	14%	14%	14%	14%
進捗率(累計)	0%	0%	0%	0%	15%	30%	44%	58%	72%	86%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

優れた風致景観を有する自然公園内において放置ゴミ等を回収・処理する美化清掃活動と不法投棄防止の啓発活動を支援することによって、国立公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。
2027年までに回収されるゴミの量を年間あたり3t以下にする。

2. 概要

地元に清掃活動団体を育成し、その活動に対して補助金を交付し支援することで、国立公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。
また、不法投棄防止の啓蒙活動をすることで、ゴミの排出抑制につなげる。

3. 根拠法令等

- ・自然公園法第19条
- ・秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

4. 事業内容等

- 国立公園の美化清掃活動を推進し、自然環境の清潔を保持するために清掃活動事業を行う清掃団体へ補助金を交付した。
- 十和田八幡平国立公園において、2団体が1.2トンのゴミを回収した。
内 訳：一般社団法人十和田湖国立公園協会（十和田八幡平国立公園十和田地区）0.2トン
八幡平を美しくする会南八幡平支部（十和田八幡平国立公園秋田駒ヶ岳地区）1.0トン
時 期：令和3年4月～令和4年3月

令和3年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

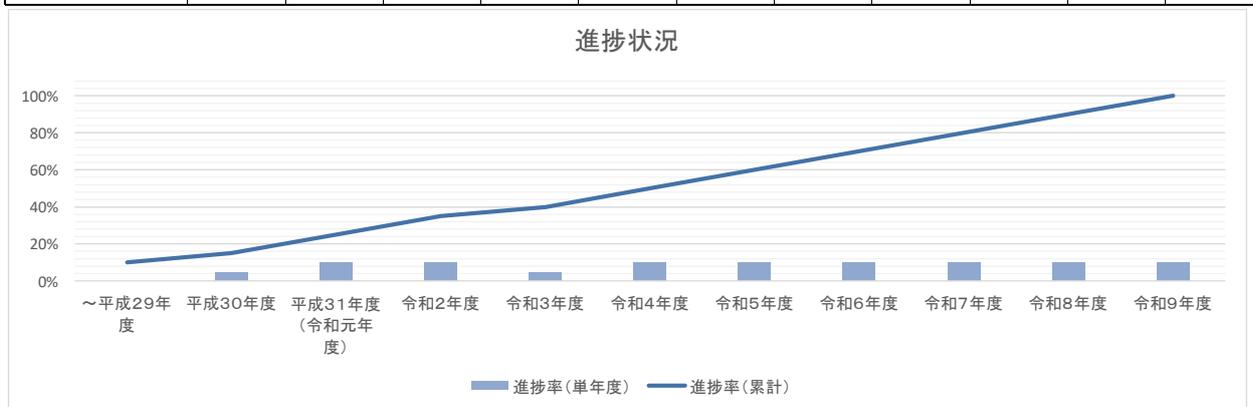
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金及び負担金	183,000		183,000	一般社団法人和田湖国立公園協会
	183,000		183,000	八幡平を美しくする会 南八幡平支部
	0			
	0			
	0			
	0			
合計	366,000	0	366,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		250	340	358	366	370	370	370	370	370	370
事業費(累計)	1,623	1,873	2,213	2,571	2,937	3,307	3,677	4,047	4,417	4,787	5,157

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		5%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)	10%	15%	25%	35%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定公園・県立自然公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

優れた風致景観を有する自然公園内における放置ゴミ等を回収・処理する美化清掃活動や不法投棄防止の啓発活動を支援することによって、国定公園及び県立自然公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。
2027年までに回収されるゴミの量を年間あたり60t以下にする。

2. 概要

自然公園が位置する地域ごとに清掃活動団体を育成し、その活動に要する経費の一部を負担する市町村に対し補助金を交付することで、自然公園の美化清掃を推進する。
また、不法投棄防止の啓蒙活動をすることで、ゴミの排出抑制につなげる。

3. 根拠法令等

- ・自然公園法第19条
- ・秋田県環境基本条例
- ・秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

4. 事業内容等

○国定公園・県立自然公園の美化清掃活動を推進し、自然環境の清潔を保持するために清掃活動事業を行う清掃団体へ、市町村を経由して補助金を交付した。
○県内の国定公園3カ所、県立自然公園4カ所において、7団体が59.0トンのゴミを回収した。
内 訳：にかほ市 鳥海国定公園を美しくする会（鳥海国定公園）10トン
湯沢市 湯沢市栗駒国定公園を美しくする会（栗駒国定公園）2トン
男鹿市 男鹿を美しくする会（男鹿国定公園）37トン
大仙市 真木真昼県立自然公園を美しくする会（真木真昼県立自然公園）2トン
北秋田市 県立自然公園森吉山を美しくする会（森吉山県立自然公）0.3トン
大館市 田代岳を愛する会（田代岳県立自然公園）1.1トン
仙北市 田沢湖を美しくする会（田沢湖抱返り県立自然公園）6.6トン
時 期：令和3年4月～令和3年3月

令和3年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定公園・県立自然公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

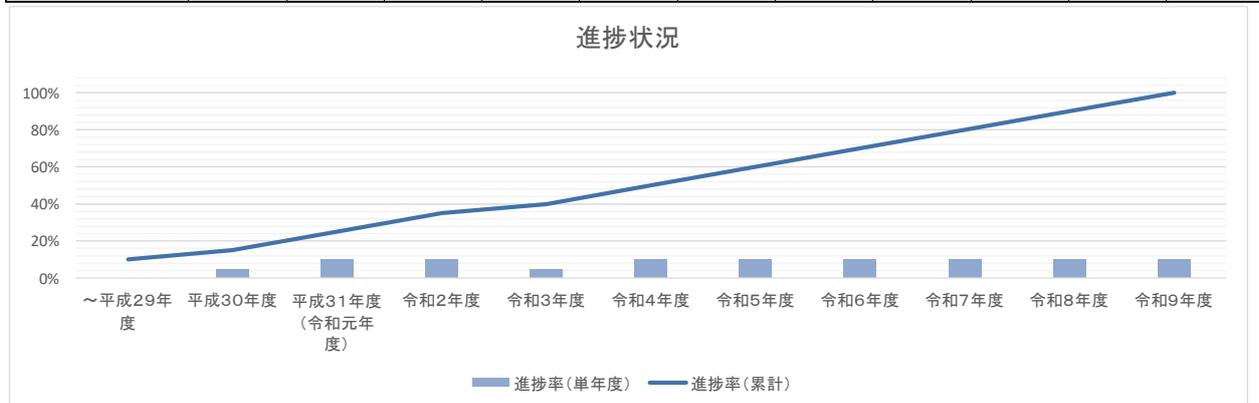
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金及び負担金	81,000		81,000	にかほ市
	110,000		110,000	湯沢市
	351,000		351,000	男鹿市
	161,000		161,000	仙北市
	81,000		81,000	大仙市
	132,000		132,000	北秋田市
	81,000		81,000	大館市
合計	997,000	0	997,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		880	941	973	997	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010
事業費 (累計)	3,501	4,381	5,322	6,295	7,292	8,302	9,312	10,322	11,332	12,342	13,352

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		5%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)	10%	15%	25%	35%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

白神山地の価値や素晴らしさを、次代を担う子どもたちに伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。

【目標】

白神山地をフィールドにした自然体験教室を令和9年度まで実施し、定員（各回20名、計100名）に対する参加率を80%以上とすることを目標とする。

2. 概要

白神山地の価値や素晴らしさを、次代を担う子どもたちに伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。

3. 根拠法令等

- ・白神山地世界遺産地域管理計画

4. 事業内容等

世界遺産白神山地の価値や保全の大切さを次代を担う子どもたちへ伝えるため、白神山地をフィールドにした自然体験教室を、夏季に開催した。素波里園地をフィールドにした親子キャンプを秋季に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染警戒レベルが4に引き上げられたため、イベントの実施を中止とした。

夏季は川や海でのカヤック体験、林道での山菜採り等の自然観察・体験を実施した。秋季はキャンプ場での自然体験を実施する予定であった。多様な生き物、森・里・川・海のつながり、人との関わりなど、子どもたちが白神山地の豊かな自然環境からもたらされる恵みに気づき、保全活動に関心を持ってもらえる内容で実施した。

参加者を募る周知活動については、夏季は県央・県南の市町村教育委員会に協力を依頼し、各小学校へ参加者募集チラシ等を配布した。

夏季：日帰り（秋田市発2回、横手市発1回、計3回）

対象：秋田県内の小学4年～6年生（各回定員20名程度）

秋季：1泊2日（2回）

対象：秋田県内の小学1年～3年生及びその保護者（各回定員20組程度）

※ 秋季については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催中止

令和3年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

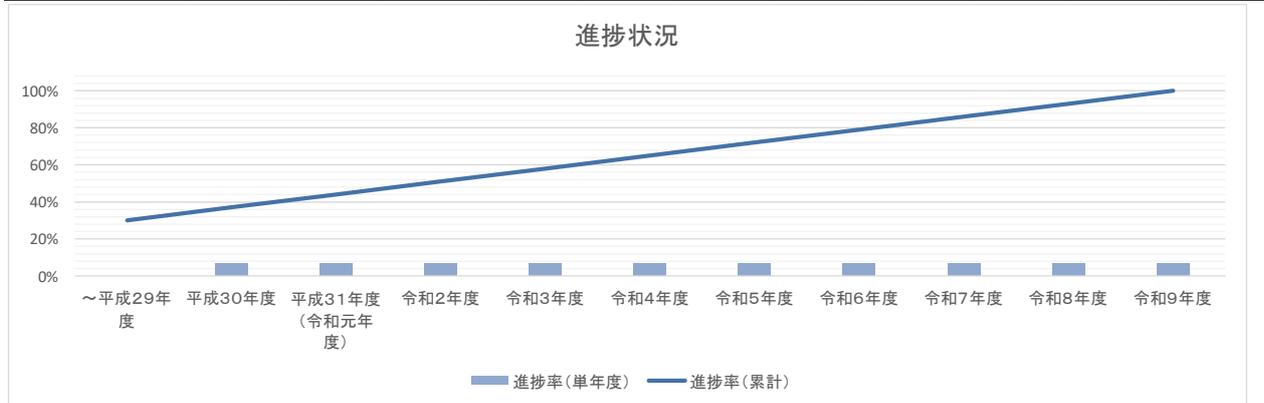
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	0			
旅費	0			
需用費	21,094	21,094		
役務費	8,975	8,975		
委託費	2,118,248		2,118,248	
使用料及び賃借料	9,790	9,790		
合計	2,158,107	39,859	2,118,248	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		2,167	2,383	2,934	2,159	2,921	2,912	2,912	2,912	2,912	2,912
事業費 (累計)	7,009	9,176	11,559	14,493	16,652	19,573	22,485	25,397	28,309	31,221	34,133

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地総合ガイド育成事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

世界遺産白神山地の生態系や生物多様性の保全を図り、その価値と魅力を将来に伝えていくために認定した「あきた白神認定ガイド」に対し、更新講習及び面接指導等を実施し、育成を継続する。

【目標】

認定期間が終了する「あきた白神認定ガイド」のうち80%以上を更新させる。

2. 概要

白神山地の魅力や価値は一見して理解されづらいため、それらを分かりやすく伝えることができる白神ガイドの存在は不可欠である。そこで、世界遺産白神山地におけるガイド及び保全活動に関心のある人を対象に、白神山地に関する知識やガイド技術等を習得してもらうための講習・試験を実施する。

白神ガイドとして認定された者は、地元のガイド団体に所属した上で、白神山地の魅力、価値を発信する活動に取り組んでもらう。白神ガイドの活動によって、世界遺産としての白神山地の価値や魅力が多くの人に伝わり、白神山地の保全意識の気運を高めることに繋げる。

3. 根拠法令等

- ・白神山地世界遺産地域管理計画

4. 事業内容等

講習・面接

○講習：年間3回実施。（5/30:留山、11/28:ファーストエイト、3/5:水無沼）

5/30に実施した講習の参加者を新型コロナウイルス対策のため、県内在住者のみとしたため、新規受講者2名を対象に補講を実施（12/12:留山）。

○面接：各講習後に実施。（5/30:5名、11/28:7名、3/5:2名）

養成指導者2名については面接は実施せず。

○対象：H30資格取得の20名（うち16名受講）

令和3年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地総合ガイド育成事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

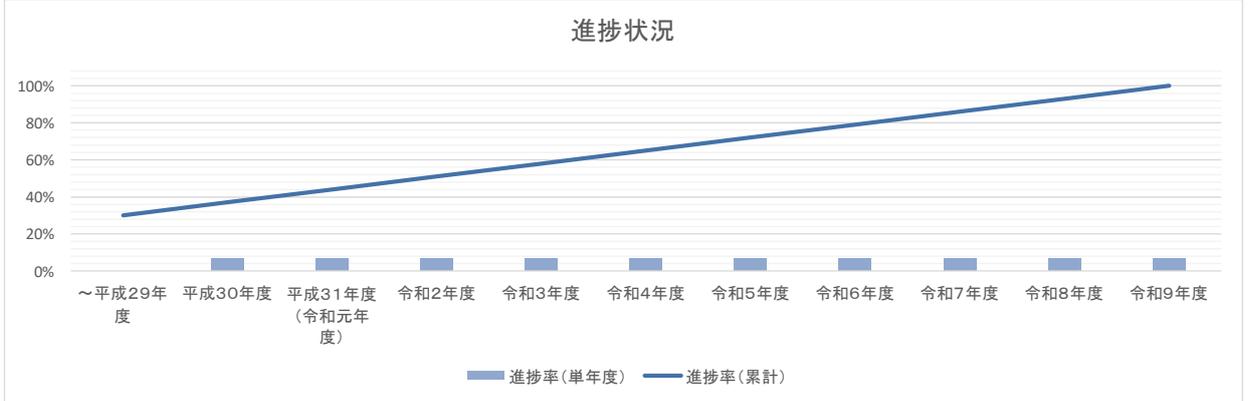
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	12,000	12,000		
旅費	33,485	33,485		
需用費	103,268	103,268		
役務費	10,932	10,932		
委託費	1,260,600		1,260,600	
使用料及び賃借料	0			
合計	1,420,285	159,685	1,260,600	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		4,087	3,461	3,473	1,421	1,462	1,462	1,462	1,462	1,462	1,462
事業費 (累計)	8,909	12,996	16,457	19,930	21,351	22,813	24,275	25,737	27,199	28,661	30,123

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	生物多様性の保全に関する普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

秋田県では生物多様性基本法に基づき、本県の生物多様性の保全と持続可能な利用を目指すため、令和3年3月に「秋田県生物多様性地域戦略(2021-2030)」を策定し、令和3年4月から各種取組みを推進していく。

しかしながら、本県では「生物多様性」という言葉そのものが十分に浸透しておらず、より多くの県民に、より早い段階で生物多様性の意味とその保全の重要性を認識してもらい、地域レベルや個人レベルでの取組に繋げていく必要がある。先ずは普及啓発活動を中心として、リーフレットの作成や情報発信に努め、県民一人ひとりの理解促進を図る。

【目標】

生物多様性の理解を深めてもらうためには、野外体験や自然観察会など自然と触れ合う機会を増やすことが大切である。県ホームページやリーフレットなどによる情報発信を行い、県で管理している環境と文化のむら（五城目町）、奥森吉青少年野外活動基地（北秋田市）、森吉山野生鳥獣センター（北秋田市）の利用者数の増加に繋げる。

平成31年度における3施設の利用者総数、約2万1千人から、令和9年度末には3万人の利用者数をを目指す。

単年度目標 1, 290人以上の利用者 × 7ヶ年 ≧ 9千人以上

2. 概要

令和3年度から本事業をスタートさせるにあたり、生物多様性という言葉の意味や重要性を知ってもらうきっかけづくりとして、手始めに、子供にも分かりやすいリーフレットを作成し、県内の小・中学生に配付する。

配布後の取組みとしては、環境と文化のむら（五城目町）、奥森吉青少年野外活動基地（北秋田市）、森吉山野生鳥獣センター（北秋田市）などの施設を紹介し、野外体験や自然観察会の学習に繋がるよう情報発信も行うものとする。

3. 根拠法令等

- ・生物多様性基本法
- ・生物多様性国家戦略
- ・持続可能な開発目標（SDGs）
- ・秋田県生物多様性地域戦略（2021-2030）
- ・秋田県環境基本条例

4. 事業内容等

秋田県生物多様性地域戦略[2021-2030]に基づき、生物多様性の意味とその保全の重要性を周知するため、小中学生向けのリーフレットを作成し、配布した。

- ・作成部数：30,000部
- ・配布先：小学校181校、中学校110校、義務教育学校1校、特別支援学校15校、教育庁2課、市町村教育委員会25箇所、教育事務所8箇所

令和3年度 事業報告書

事業名	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	生物多様性の保全に関する普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

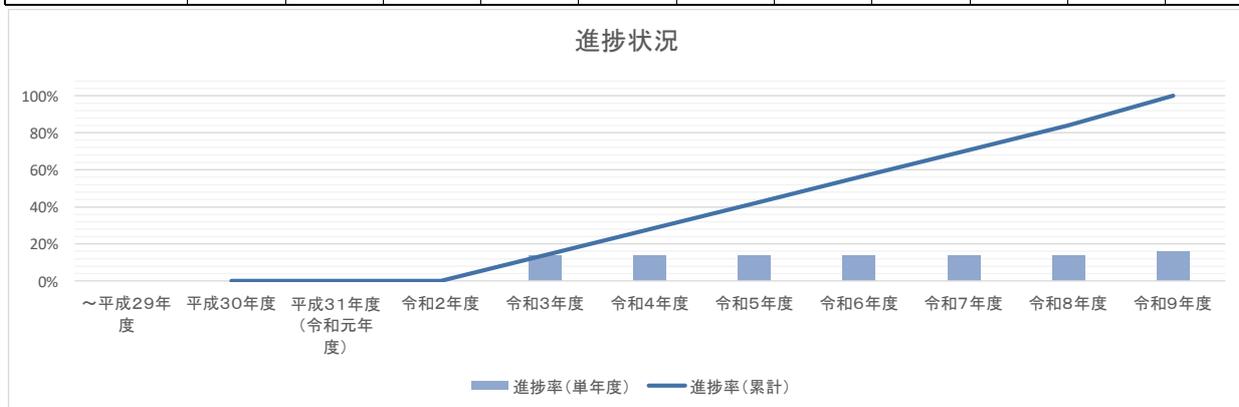
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	627,000		627,000	リーフレット作成業務委託(発送含む)
負担金	0			
合計	627,000	0	627,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)					627	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703
事業費(累計)		0	0	0	627	2,330	4,033	5,736	7,439	9,142	10,845

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)					14%	14%	14%	14%	14%	14%	16%
進捗率(累計)		0%	0%	0%	14%	28%	42%	56%	70%	84%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 秋田県では、ツキノワグマによる人身及び農作物被害が毎年発生し、県民の安全安心な生活を脅かしているほか、農作物被害に伴う経済的影響及び就農意欲の低下が大きな社会問題となっており、ツキノワグマと人の軋轢を軽減させる必要がある。 また、近年、全国的に大きな被害をもたらしているニホンジカやイノシシの生息域が県内でも拡大している。こうした人と野生鳥獣を取り巻く状況の変化を踏まえ、ツキノワグマをはじめとした野生鳥獣の適正な保護及び管理を推進していくためには、県民をはじめ関係機関や関係団体等の理解や協力が欠かせないことから、野生鳥獣の生態や被害防止への関心を高めるとともに理解を深め、人身及び農作物被害軽減のための県民一人一人の取組を促進する必要がある。</p> <p>【目標】 目標値：出前講座を毎年15回以上または500人以上に対して実施する。</p>

2. 概要

<p>野生鳥獣被害防止対策の必要性や重要性を広く啓発するため、県民を対象とした野生動物生態講座用の読本を増刷したほか、クマ被害への注意を喚起するチラシを配布し、県民へクマ被害防止方法の啓発を行う。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第4次ツキノワグマ） 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律</p>

4. 事業内容等

<p>○出前講座等 出前講座やセミナー等で使用する教材「クマの生態と対策について」の読本を全県の小中学生へ配布し、クマの接し方について啓発する。「クマの生態と対策」について、わかりやすく、正しい知識の普及啓発のため、クマの足形などのクマキットと読本等を作成し、出前講座等を実施した。 出前講座実績 件数（研修・講座）：37件 受講者数：延べ3,232人</p> <p>○クマの注意喚起チラシの配布 クマ被害への注意を喚起するチラシを配布し、県民へクマ被害防止方法の啓発を行った。 作成部数：15,000枚 配付先：各市町村、県有施設、警察署ほか</p>

令和3年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

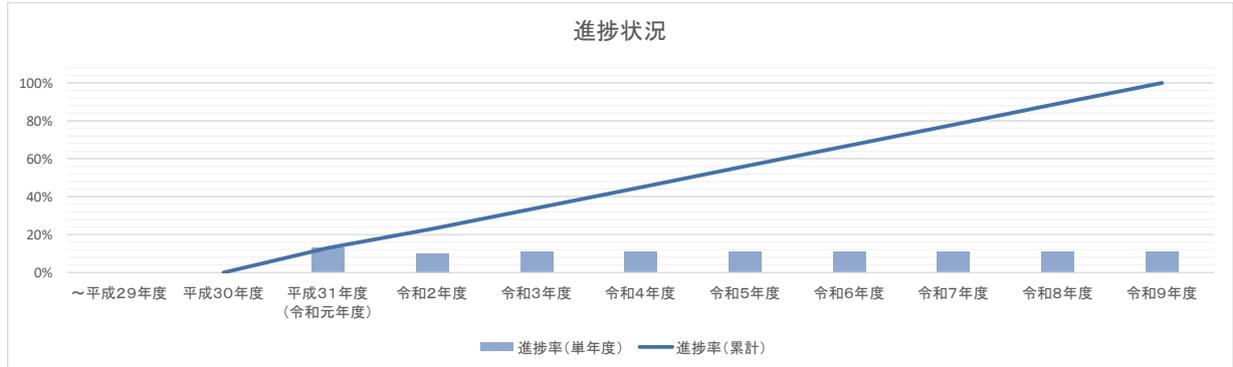
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	1,000,000		1,000,000	読本作成・配布
需用費	40,577		40,577	クマの注意喚起チラシ作成
合計	1,040,577	0	1,040,577	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			641	2,174	1,041	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650
事業費 (累計)		0	641	2,815	3,856	5,506	7,156	8,806	10,456	12,106	13,756

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			13%	10%	11%	11%	11%	11%	11%	11%	11%
進捗率 (累計)		0%	13%	23%	34%	45%	56%	67%	78%	89%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（野生鳥獣対策促進フォーラム）	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 秋田県では、ツキノワグマによる人身及び農作物被害が毎年発生し、県民の安全安心な生活を脅かしているほか、農作物被害に伴う経済的影響及び就農意欲の低下が大きな社会問題となっており、ツキノワグマと人の軋轢を軽減させる必要がある。 また、近年、全国的に大きな被害をもたらしているニホンジカやイノシシの生息域が県内でも拡大してきている。こうした人と野生鳥獣を取り巻く状況の変化を踏まえ、ツキノワグマをはじめとした野生鳥獣の適正な保護及び管理を推進していくためには、県民をはじめ関係機関や関係団体等の理解や協力が欠かせないことから、野生鳥獣の生態や被害防止への関心を高めるとともに理解を深め、人身及び農作物被害軽減のための県民一人一人の取組を促進する必要がある。</p> <p>【目標】 フォーラム参加者数：200人以上/年</p>

2. 概要

<p>野生鳥獣被害防止対策の必要性や重要性を広く啓発するため、県民を対象としたフォーラムを開催する。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第4次ツキノワグマ） 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律</p>

4. 事業内容等

<p>開催日：令和3年9月26日（日） 場所：秋田県立総合射撃場 参加者：新型コロナウイルス感染拡大のためイベントを中止 実施予定内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○狩猟免許取得・支援制度相談コーナー 狩猟免許取得に関する相談及び狩猟免許取得支援制度に関する説明 ○農業被害状況パネル展示コーナー 県内の農業被害状況のパネル展示 ○模擬銃・わな猟具体験ブース 現役狩猟者による模擬銃、わな猟具の解説等
--

令和3年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（野生鳥獣対策促進フォーラム）	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

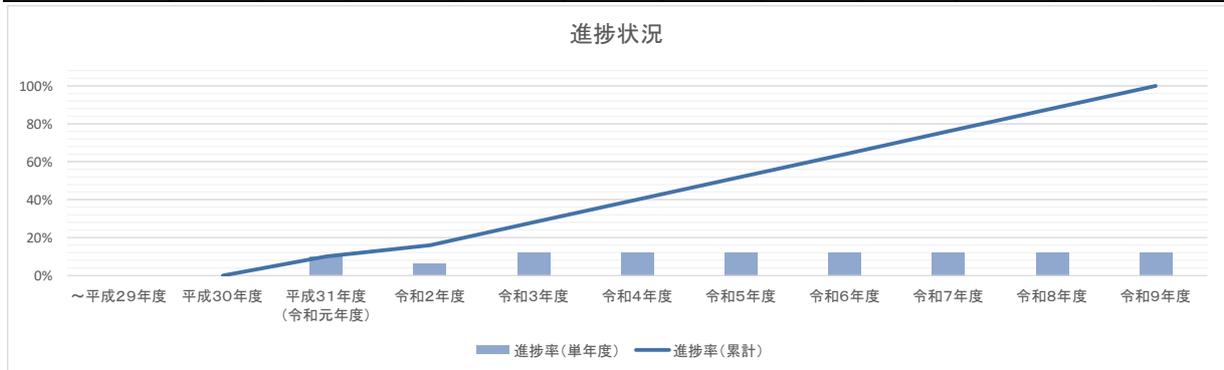
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	710,000		710,000	野生鳥獣対策推進フォーラムの実施に係る業務（事前準備に係る経費：281千円、チラシ・ポスター作成費：257千円、その他消耗品等172千円）
	0			
	0			
	0			
	0			
	0			
合計	710,000	0	710,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			402	432	710	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
事業費 (累計)		0	402	834	1,544	2,544	3,544	4,544	5,544	6,544	7,544

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			10%	6%	12%	12%	12%	12%	12%	12%	12%
進捗率 (累計)		0%	10%	16%	28%	40%	52%	64%	76%	88%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	環境産業活性化推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	認定リサイクル製品利用拡大推進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 県民意識調査において、県へ期待する活動の設問に対し、「ごみなどを原料としたリサイクル製品の普及活動」が上位となっており、県民の関心は高いことから、優れたリサイクル製品を県が認定し、その利用拡大を図りながら県民への認知度を高めるため、リサイクル製品に関する普及啓発を行う。</p> <p>【目標】 県認定リサイクル製品の認定数（累積）：432製品</p>
--

2. 概要

<p>認定リサイクル製品の新たな利用拡大を図るため、環境学習及び各種環境イベントにおいて、認定リサイクル製品のサンプル展示及びパネル等による普及啓発活動を実施する。</p>
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県リサイクル製品の認定及び利用の推進に関する条例 ・秋田県環境基本条例 ・第3次秋田県環境基本計画
--

4. 実施内容等

<p>○環境学習及び各種環境イベントでのPR活動 リサイクル認定製品の展示、PR資料展示を環境団体へ委託して県民への普及啓発を図った。</p> <p>委託者：NPO法人環境あきた県民フォーラム 理事長 佐藤 充 実績：秋田県認定リサイクル製品の展示によるPR事業（開催日・開催場所） 令和3年11月26日（金）北秋田市民ふれあいプラザコムコム（北秋田市） 令和3年12月9日（木）西目公民館シーガル（由利本荘市） 令和3年12月10日（金）横手市交流センターY2（わいわい）ふらざ（横手市） 令和3年12月8日（水）～12月10日（金）東京ビッグサイト（エコプロ2021）（東京都） 令和4年1月14日（金）～1月27日（木）秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎（秋田市） 令和4年1月29日（土）～2月1日（火）秋田市にぎわい交流館 AU（秋田市）</p> <p>認定製品PR用チラシの製作及び配布 両面1,000部</p>
--

令和3年度 事業報告書

事業名	環境産業活性化推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	認定リサイクル製品利用拡大推進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

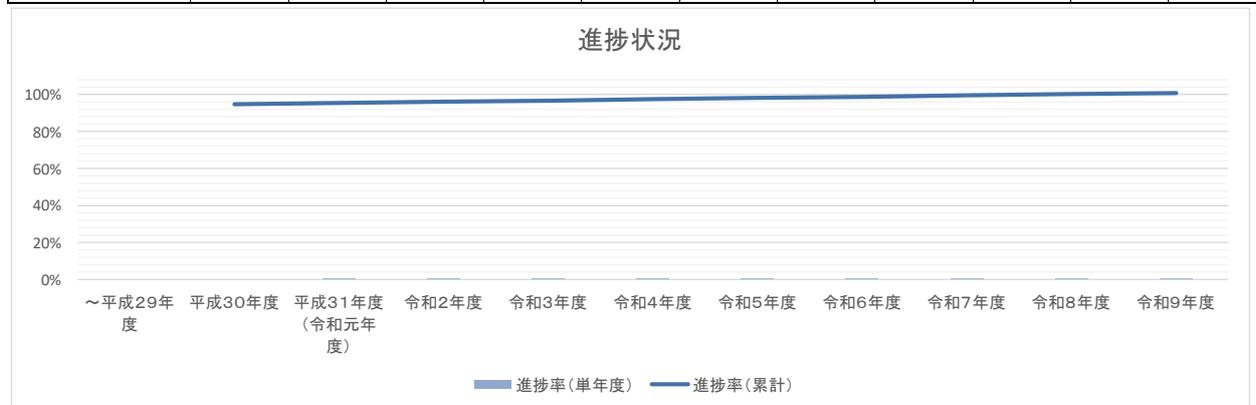
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	589,754		589,754	秋田県認定リサイクル製品展示PR業務委託
負担金	0			
合計	589,754	0	589,754	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)			544	538	590	600	600	600	600	600	600
事業費(累計)		0	544	1,082	1,672	2,272	2,872	3,472	4,072	4,672	5,272

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)			0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%
進捗率(累計)		94.7%	95.4%	96.1%	96.7%	97.4%	98.1%	98.8%	99.5%	100.1%	100.8%



令和3年度 事業報告書

事業名	環境あきたエコ活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境あきたエコ活動促進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 本県の恵まれた環境をより豊かなものとして将来の世代に継承していくため、県民が組織する民間団体が地域住民等に対し自主的に行う環境保全活動を支援することにより、県民が環境保全の意義や重要性を理解するとともに、環境保全活動の自主的行動を促進する。</p> <p>【目標】 補助事業による環境保全活動等への参加者を令和9年度までに延べ3,600人以上にする。</p>

2. 概要

<p>秋田県環境基本条例第16条に基づき、民間の団体が地域住民等に対して自主的に行う環境保全活動に要する経費を支援する。</p>
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県環境基本条例 ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

<p>○環境あきたエコ活動促進支援事業</p> <p>県民に対して、民間の団体が自主的に行う環境保全活動に要する経費の助成に係る費用を中間補助事業者に交付し、中間補助事業者の審査を経て、環境保全の普及啓発事業を行う団体に助成を実施した。</p> <p>事業費内訳 : 予算額（補助金） 2,000,000円 ; 実績額 1,999,565円 : 予算額（事務費） 750,000円 ; 実績額 750,000円 : 予算額（計） 2,750,000円 ; 実績額 2,749,565円</p> <p>NPO等の環境保全団体に対して、次のとおり助成を行い、県民の環境保全の取組み支援及び普及啓発を実施した。</p> <p>助成団体 7団体 助成額 1,999,565円</p> <p>取組事例 おのぼホテル会（地域の小学生とともに、ホテルの観察及び保護増殖活動等を実施） 三又部落自治会（野生動物と共生する山村集落づくりのため、耕作放棄地の整備と野生動物調査等を実施） 7団体延べ参加人数880名程度（小中学生及びその保護者、県民など）</p>

令和3年度 事業報告書

事業名	環境あきたエコ活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境あきたエコ活動促進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

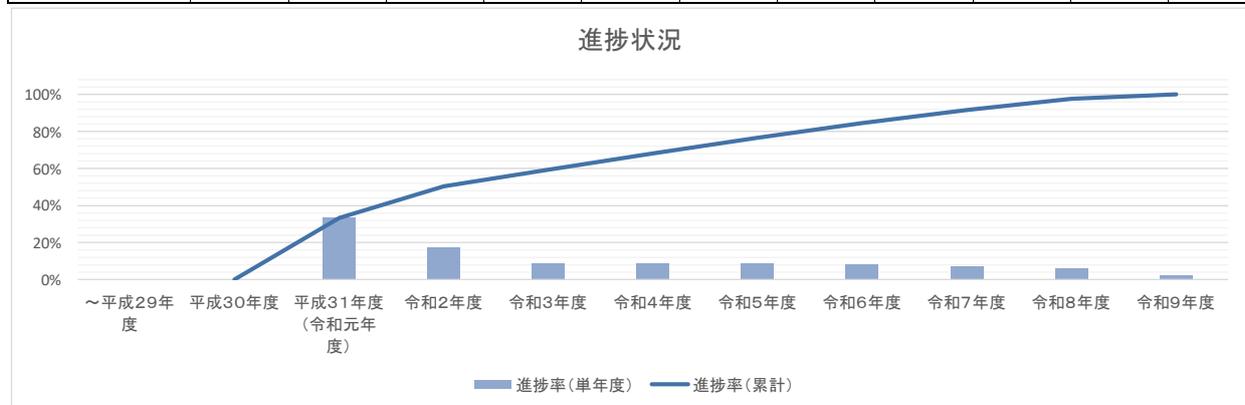
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	0			
負担金(補助金)	2,749,565		2,749,565	補助金(事務費含む)
合計	2,749,565	0	2,749,565	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)			2,617	2,624	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750
事業費(累計)		0	2,617	5,241	7,991	10,741	13,491	16,241	18,991	21,741	24,491

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)			33.3%	17.1%	9.0%	8.8%	8.4%	8.0%	7.0%	6.0%	2.4%
進捗率(累計)		0.0%	33.3%	50.4%	59.4%	68.2%	76.6%	84.6%	91.6%	97.6%	100.0%



令和3年度 事業報告書

事業名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	新規・継続区分	新規
事項名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

本県の環境施策の指針となる環境基本計画について、その計画の推進には、県民、NPO団体、行政のすべての主体の参加が必要であることから、広く県民等に環境保全の方針や施策について周知し、環境保全の自主的な活動に対する意識の醸成を図る必要がある。

【目標】

環境基本計画周知のためのウェブサイトの閲覧数を令和9年度まで延べ9,520件／年以上にする。（県人口の1%相当）集計外指標として、小中学校用の環境教育の副読本等としての活用を図る。

2. 概要

秋田県環境基本条例に基づく、基本計画の周知について、紙媒体による普及啓発ではなく、環境に配慮した形で、ウェブサイトにより、環境基本計画の概要を周知する。合わせて、環境に関わるSDGsの取組みや活動等も分かりやすく表現し、県民等の環境保全意識の醸成を図る。

3. 根拠法令等

- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

○秋田県環境ポータルサイト「あすも」の開設

第3次秋田県環境基本計画の概要を掲載するとともに、秋田県内の環境保全に関する様々な情報を発信するポータルサイトを開設した。

業務名 秋田県環境基本計画等普及啓発WEBサイト制作業務委託
URL <https://asmo.pref.akita.lg.jp/>
サイト公開日 令和4年3月28日
主なコンテンツ 第3次秋田県環境基本計画の概要、エコアクションチェック、環境クイズ、あきた環境マップ、環境保全活動の取組事例インタビュー、環境に関するお知らせ 等

令和3年度 事業報告書

事業名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	新規・継続区分	新規
事項名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

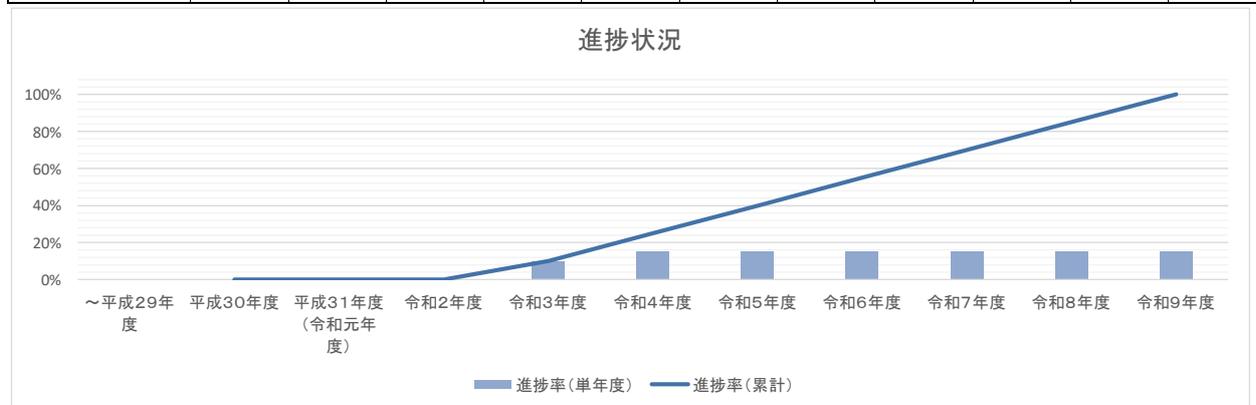
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	2,785,200	0	2,785,200	ウェブサイト作成業務委託費
負担金(補助金)	0			
合計	2,785,200	0	2,785,200	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)					2,786	2,872	2,872	2,872	2,872	2,872	2,872
事業費(累計)		0	0	0	2,786	5,658	8,530	11,402	14,274	17,146	20,018

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)					10.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%
進捗率(累計)		0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	25.0%	40.0%	55.0%	70.0%	85.0%	100.0%



令和3年度 事業報告書

事業名	自然の中でワーケーション推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	自然体験プログラム提供事業	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 ワーケーションを目的として、自然公園等に滞在する県内の家族や企業の従業員、次代を担う子ども等に対して自然環境教育の機会を提供し、SDGsの理解促進や自然保護意識の育成を図る。</p> <p>【目標】 環境教育事業参加者数：60人以上/年</p>
--

2. 概要

<p>奥森吉青少年野外活動基地において、従来実施していなかった宿泊型の環境教育を実施することにより、日帰りでは実施できなかった夜間・早朝を含めた森吉山周辺の自然観察会を実施する。特に、外来生物（オオハンゴンソウ）の駆除などの体験を通じて、生物多様性やSDGsへの理解を深めてもらえるメニューを提供する。</p>

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性基本法 ・秋田県立自然公園条例 ・秋田県奥森吉青少年野外活動基地条例 ・秋田県環境基本条例
--

4. 実施内容等

<p>秋田県生物多様性地域戦略[2021-2030]の行動計画に基づき、本県の生物多様性の保全に関する普及啓発活動として、奥森吉青少年野外活動基地を拠点に、県内の小学3年生とその家族を対象に1泊2日で、周辺地域の豊かな自然環境を体験する宿泊型環境学習会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和3年7月24日（土）～令和3年7月25日（日） 内 容：森探検、コウモリ観察会、昆虫観察会、自然素材クラフト工作 等 参加者：21名 ・第2回 令和3年8月21日（土）～令和3年8月22日（日） 内 容：オオハンゴンソウ（特定外来生物）駆除、草木染め、森探検、桃洞の滝散策、渓谷遊び 等 参加者：新型コロナウイルスの影響で中止
--

令和3年度 事業報告書

事業名	自然の中でワーケーション推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	自然体験プログラム提供事業	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	154,880	0	154,880	募集用リーフレット
借料	0			
委託費	361,200	0	361,200	自然体験事業委託費
負担金(補助金)	0			
合計	516,080	0	516,080	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)					517	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
事業費(累計)		0	0	0	517	1,717	2,917	4,117	5,317	6,517	7,717

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)					14%	14%	14%	14%	14%	14%	16%
進捗率(累計)		0.0%	0.0%	0.0%	14.0%	28.0%	42.0%	56.0%	70.0%	84.0%	100.0%

